



# 山口としや 通信 第27号

## 新年あけましておめでとうございます

皆様のご支援のおかげで、1年を無事に過ごすことができました。ありがとうございました。これからも市民目線を大切に、『教育・環境・平和』に重点を置きながらがんばっていきます。今年1年の皆さまの健康とご多幸をお祈りいたします。

### 山田市長、再選!

11月に行われた、白山市長選挙において、山田市長が無投票再選されました。皆様のご支援に感謝します。これからも山田市政にいろいろ提案し、市民福祉の向上に努めていきます。

12月4日、現役高校教諭「斉藤ひでみ(仮名)」さんが取り組んだ給特法の改正を求めるインターネット署名の提出に呼びかけ賛同人として参加してきました。32,550人分を文科省と厚労省に提出し、給特法の改正を強く訴えてきました。提出後の記者会見では、法による上限規制がないと、学校現場は何も変わらないことを資料を使いながら、訴えてきました。(給特法とは：公立学校の教員に、時間外手当や休日手当を支払わなくても良いと規定してある特別措置法)



12月4日、記者会見で斉藤さんと(斉藤さんは顔出しNGです。)

### 2018年12月議会報告

## 生ゴミ処理機、補助の再開を

(質問) 生ごみ処理機の補助を2010年に中止している。循環社会の形成のため、ごみの省力化のため補助の再開はできないか。  
→ (市長) 生ごみ処理機は、家庭から出る生ごみを微生物の働きで分解させ、堆肥化させることができる。ごみの減量、資源化に役立つ。補助件数が減少したため、2010年度に廃止した。ごみの無料収集を続けるためにもごみの減量化、資源化に向けた市民の皆様のご協力が不可欠である。広域事務組合管内の野々市市と川北町の協力をいただきながら、再開に向けて検討していき

たい。  
生ごみ処理機は高額であり、ホームセンターなどで安価に購入し、身近な材料でつくることができる段ボールのコンポストなどの普及にも努めていきたい。

(質問) 処理機でできる堆肥の処理が問題だと聞いた。堆肥の収集場所を設けるなど利活用のシステムの構築を。  
→ (市長) 堆肥の活用する場所も減っており、堆肥の回収拠点や利活用方法について、研究していきたい。

**としやチェック** 少しでもごみを少なくし、持続可能な社会を作るためにも、生ごみ処理機は有効です。できた堆肥を利活用するシステムを作り、循環社会を目指す必要があります。

# SDGs未来都市を目指すために

(質問) SDGsは17の開発目標と169のターゲットで構成されている。本市が国からSDGs未来都市に選定された未来都市計画で取り上げているのは、6の開発目標と11のターゲットのみ。市の目標は。

→(市長)本市総合計画の推進により、SDGsの基本的方向性が70のターゲットで合致する。地方行政の推進はSDGsそ

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGsの17の開発目標

のものと認識している。

(質問) 白山市のターゲットは70だが、他のターゲットでやれるものはやっぴいこうとするのか。

→(市長)考えが多種多様になっているので、増えていくことは当然ある。

(質問) 本市のSDGs未来都市計画の中には全ての市民とあるが、この市民には外国籍の住民を含んでいるのか。

→(市長)本市に在住する外国籍の住民の方も当然含まれている。

(質問) SDGsの合い言葉として「誰も取り残さない」という言葉を使っているが、取り残しているいないは、誰が決めるのか。

→(市長)国連が定めた理念から申し上げて、世界の全ての人を対象にしており、そうした社会を目指すあるいは実現するという人類の強い願いであると捉えている。

(質問)「誰も取り残さない」という意志を示すために、仮称「あらゆる差別をなくすことを目指す条例」を制定しては。

→(市民生活部長)市では、共生の街づくり条例、男女共同参画推進条例、子どもの権利条例に関する条例などで、人権擁護や差別の解消について規定しており、新たな条例の制定については考えていない。

(質問) 近年ヘイトスピーチや外国人に対する不当な差別が生じているが。

→(市民生活部長)近年インターネット上の誹謗中傷、外国人に対する不当な差別、性的マイノリティーに対する偏見など、まだまだ課題が多いことは十分認識している。今後条例制定も含め他の自治体の取組などを研究し、関係機関や、庁内の関係部局と連携を図り、課題を共有しながら、差別のない街づくりの取り組んでいきたい。

(質問) L G B T性的マイノリティーについて、先日当事者を含む市民団体の皆さんが、同性間で使えるパートナーシップ認証制度の導入を求め、1000筆を超える署名とともに市長に要請した。L G B T性的マイノリティーの相談窓口の設置を。

→(市民生活部長) L G B Tの方を始めそ



のご家族の抱える悩みは非常に複雑でデリケートな問題であり、専門の相談員の配置が必要となるため、市での設置は難しい。相談があればお聞きし、必要に応じて適切な専門機関等を案内したい。

(質問) L G B T 性的マイノリティーについて学校関係者や市民に対しての研修会やイベントの実施を。

→ (市民生活部長) 市では 2016 年からセミナーを開催している。2019 年 2 月には人権擁護委員や民生・児童委員など相談業務に関わる方々や市職員を対象に研修会を実施する。学校関係者への研修は、県教委が開催する研修会の参加や、市が行う研修会への参加も勧めていきたい。

北陸地方は性的マイノリティーに対して閉鎖的と言われており、無関心な方々も少なくない。こうした無関心な方にも目を向けてもらえるよう広く市民に啓発していきたい。

(質問) 同性カップルを自治体が公に婚姻に準ずる関係として証明するパートナーシップ認証制度の導入に向けた検討を始め、なるべく早い時期に導入すべきでは。

→ (市民生活部長) 現在全国で 9 自治体の実施している。

同性カップルが抱える問題の解決に向けての一つの方法である。しかし、まず多くの方が L G B T 性的マイノリティーの問題

に関心を持ち、正しく理解して頂けるよう啓発に努めたい。制度の導入については、国の動向を注視するとともに、他の自治体の取組も参考にしながら研究していきたい。

(質問) 2019 年 4 月から開始する自治体もあり、2桁を超える状況になっている。この方向性は後戻りできないと感じている。市長はどう考えているか。

→ (市長) 先だって当事者も含めて関係者と面談した。社会的な認知も含めて周知することが必要。パートナーシップ認証制度については、もう少し勉強したい。

(質問)

S D G s の普及啓発のツールとして、



L G B T の尊厳と社会運動を象徴する S D G s レインボーフラッグ

カードゲームがある。小中学校や公民館などに紹介し、イベントを開催しては。

→ (企画振興部長) 本市においては、8 月に市職員と金沢工業大学ならびに NTT ドコモでカードゲームの体験会を実施した。実施にあたり、金沢工業大学の協力、指導も仰ぐ必要がある。今後大学と協議の上、小中学校や公民館を対象にしたカードゲームの開催ができないか、開催方法について検討していきたい。

**としゃチェック**

S D G s (エスディージーズ) は国連が定めた全世界共通の目標です。5 番目に「ジェンダー平等を実現しよう」とあり、10 番目に「人や国の不平等をなくそう」とあります。人は一人一人違い、様々な考えを持っています。多様な考えを互いに認めあえる市になることを目指し、取り組んでいきます。

## 教職員の感性をより大切に

(質問) 小中学校のワックスがけと月 1 回のトイレ掃除を業者委託できないか。

→ (教育長) 勤労の意義や奉仕の精神、愛校心を育み有意義。気分が悪くなったり、転倒したりすることがないよう、十分注意している。業者委託は考えていない。トイレの尿石除去を 2 年に 1 回行っている。

(質問) ポリッシャーを使用する場合、業者はヘルメットをかぶって行っているが。

学校では安全具をつけずに行っているが。

→ (教育長) 調べてみたい。

(質問) かほく市では地域と学校を結ぶ職責を担う学校コーディネーターを配置している。本市でも採用すべきでは。

→ (教育長) コミュニティスクールの導入が前提。地域の方が学校にきてボランティアをして頂くことは大変有意義である。慎重に検討し、考えていきたい。

(質問) 2020年に小学校で英語が教科化されるが、ALTが不足している。金沢市のように英語の得意な方を、英語インストラクターとして配置しては。

→(教育長) ALTは5、6人足りない。日本人のALTの増員を含めて準備していきたい。

(質問) 小学校の通級教室の増と中学校での通級教室の新設を。

→(教育長) 小学校は現在9校に設置しているが、要望が多く、県に対して増加要望をしてきた。中学校は、設置についての二つの有無を見極めながら考えたい。

(質問) 特別支援教室は国の基準で8人まで1教室となっており、子どもが5人を超える教室がある。



5人を超えると

1人の教員では適切な指導ができない。教育の質の確保のため、5人を超える教室には、専任の特別教育支援員を配置すべき。

→(教育長) 市の財政を考えると困難。国や県に対して、配置基準を下げるよう要望していきたい。

(質問) 特別支援の必要な児童生徒に対する備品等の購入が、学校予算が限られており、中々進んでいない。教育委員会が責任を持って対応できるシステムの構築が必要では。

→(教育長) 必要な備品の要望については、校長先生を通して購入しており、特に問題はないと考えている。

(質問) 難聴の子に対して、iPadがあればよりコミュニケーションが取れる例を聞いたが。

→(教育長) iPadやパソコンは大変少ない。1人1台もてるように考えたい。

(質問) 教職員の出退勤をタイムレコーダーで管理を始めたが、出勤簿の押印も続いている。学校管理規則を改正し、出勤簿の押印の廃止を。

→(教育長) タイムカードは時間外勤務を把握するために導入したもので、出勤簿は、勤務した日を把握するために必要なもので廃止は考えていない。

(質問) タイムレコーダーは続けていくのか。本市が定める管理規則だから、改正が可能では。

→(教育長) タイムカードは続けていく。出勤は押印で管理しているので、管理規則の改正は考えていない。

(質問) タイムレコーダーが導入されたが、管理職の中で、労務管理がずさんな管理職がいる。降格処分に値するのでは。

→(教育長) 土日で学校外で活動する際は、月末修正している。そのような管理職はいないと思っている。

(質問) 管理職は労務管理士の資格を取る必要があるのでは。

→(教育長) 研修を深めている。資格の取得は必要ないと考えている。

(質問) 現状認識が大変甘い。学校現場の教職員からの聞き取り調査が必要では。

→(教育長) 今どき、そのような管理職はいないと思うが、聞いてみたい。

(質問) 学校安全衛生管理体制が実働していない。学校現場にある程度裁量権を持たせ、業務の軽量化を積極的に認めていくべきでは。

→(教育長) 各学校ではきちんと取り組んでおり、新たな会議は必要ないとする。

(質問) 標準授業時間をクリアしている場合、授業カットし、成績をつける時間の確保などできるのでは。

→(教育長) いいものはどんどん取り入れてもらいたい。上に立つ人は、みんなの意見を集約しながら物事を進めていくべき。

**としゃチェック**

学校現場の教職員の方の声をまとめて、質問しました。現場の先生方は一生懸命取り組んでいます。しかし、多忙化は改善せず、子どもたちのちょっとした変化になかなか気づかない状況が危惧されます。教職員の感性が大切にされるよう、教育条件の整備のために取り組んでいきます。

※市政へのご意見、ご要望をお寄せください。

TEL：275-0179

e-mail：toshiya@y-toshiya.com

ホームページ：http://y-toshiya.com/

FAX：275-0924